

刊夕日六十月六



定価一円... 発行所 常磐毎日新聞社... 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

宗教とは自然の姿

眞 繼 雲 山

支那人が阿片を吸ふのにさへも相當の修行を要するたゞ一服呑んだから好い氣もちになるといふものではなく、相當に呑みこなしして中毒を起し謂はゆる隱（病だれの隱の字）の位に入らねば本當に羽化登仙の心もちあらはれて来ないさうである、即ち蔭の位に入るといふことには努力を要するが羽化登仙の心もちは修行の結果のものではない、それは努力の後にあらはれて来る自然の姿である考へて見ると酒でも煙草でも呑み始めはまづい・修行の結果の自然の姿が旨いといふことになるのである。佛教の目標は成佛にある佛となるためには五十二段の階段を踏み三祇百劫といふ長時の修行を経て菩薩となり、それから漸くにして佛果に登るのである、他力易行の法門にあつては五乘齊入といふてたゞ念佛の一行によりて不退轉の位にいたるとすのであるが、一行にせよ萬行にせよ行を必要とするは明らかである左れど一たび信後の境に入りての曉は信仰とは努力のものではない、心を勞せ

ず力を用ひぬ自然そのものでなくては信後の姿といふことは出来ぬ。自然の姿とは信後の行が放縱無漸であつて差しつかへないといふ意味では勿論ない、苟くも一たび信仰に入つたとす以上五戒をたもち十善をはげみ六度を修するといふ風に佛の子として愧づかしからぬ正しき道を踏まねばならぬこと言ふまでもないが、それが努力によつて得られるのならそれは道徳である、宗教とは道徳そのものではない、圓覺經にいふ作任止滅の四病をはなれて自然にあらはれて来る姿が佛の道に叶ふものを宗教といふのである。四病とは諸行を作さんとし諸法に任せずとし諸念を止めんとし煩惱を滅せんとする努力をいふのであつてこの四つの努力にこだわつてある間はそれは道徳の範圍を出づるものではなく、未だ宗教といふことは出来ない意によつて花を開かせようとすると、造花しか得られない無心にして挿した柳が本統の林となるのである。人間はもとゞ煩惱のか

たまりであり、我利我慾のかたまりであつて、それが吾々の地体だといふのであるから善事を修せんとするもなかゞ修せられるものではない、それが善事の修せられるやうに見えるのは實は名譽の世評の交換の取引爲であつたり、一步を進めたところをせいで努力の賜ものである、そのやうな人間的な努力は永く續くものではなく、世間が認めてくれないとか努力が盡きた時に善事は中絶する、宗教とはそのやうな取引爲や努力主義を策勵するものではなく、作任止滅の四病をはなれた自然の姿が永久にの道に叶ふべきことを示したものである、さうしてそれは道徳によつては得られず信仰によつてのみそれ境地に到り得るのである。利法は戒律を尊しとし破戒無慚の徒を外道とするがその戒律が苦しいとて繋繫を感ずる間は未だ本統の戒行ではない、由來戒には戒體なく終日戒を信して戒を知らず戒を知らずしてしかも戒に叶ふといふのが本統の戒律である恰もその如く宗教は苦行や參學のつぼから生れるにもよ生れ出た宗教は努力や策勵を超えた自然の姿にして而が道

徳に叶ふであらう、それは大陽東山に出づれば期せずして萬物が照らされてゐるやうに教への如く修行して證悟した上はその行ふところが自然に我の道に叶ふてゐるといふのが修後の姿である、その信後の姿と度高行なほ足らざるべきも約すれば總べてに對する自然の施しであり慈悲であり愛である、自然とはおのづから然らしめらるゝことを意味する。

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科
平南町（電話一七〇番）
大和田醫院

東京市本郷駒込追分町
（茶代不用） 上野驛ヨリ（自動車約五分 電車約十五分）

駒込達館

一泊金一圓八十錢（食附但シニ食）
電話（小石川）三一六五番

外科 X光線科 性病科 外科

平町田町
安齊外科醫院
電話四七五番

内科 一般
醫學博士 難波 睦
平町新川端（釜屋新宅向）
電話五〇二番



若しも 皆様方が よい品を お安く お求め なら 先づ... 先づ 三七番へ
よい品を安く賣る店
電話三七番
阿部石炭商店

金融
銀行員、鐵道員、教員、有給官吏、確實な御方ニ貸シマス希望者ハ返信料ヲ添へ住所氏名職業金額ヲ明記シ御申込下サ
親切、秘密、迅速ニ融通シマス
常磐線平町舊城跡四十二
常磐商會
東京醫學士 中村文一
平町鍛冶町 吉田吳服店西隣

香りのヨイ
本場新茶 入荷致しました
◎一斤 二、〇〇 一、六〇
香味本位の本場録茶を
召上りませ
御來店の 方に一服 呈上...
電話三九六番
大勝園

郡下壯丁の

學力調査結果

石城郡下三十四ヶ町村の壯丁學力調査は既報の如く先月二十四日より今日二日迄平第一小學校に於て施行されたが人員は二千八百八十二名にて結果は左の如く

不就學四七 尋半二二八 尋卒四一〇 實業補習修三八 高卒八〇七 實業補習卒三六六 中學在學

及半途七六 中卒一七三 専門學校在學二四 大學卒一三

にて各科目の成績平均点數は國語六、四八 算術五、〇六 公民四、七一であるが平町の成績平均点數は國語七、〇四 算術五、四五 公民五、三一であると

縣修正案の

二分減申請

家屋賃賃價格

第二次決定額

石城郡の家屋賃賃價格第二次調査委員會は去る十四日より十六日午前中迄團體事務所樓上に開會されたが第一次決定額二百八十五万九千七百七十八圓が縣修正案では三百二十二万九千二百九十七圓に増額されて居り前回より廿六万九千五百十九圓の増加を見たので調査委員會では不況に鑑み縣修正案の二分減を申請するに決したが二分減の決定總額は三百六十六万七千七百一十一圓である

奉安庫を

事務官が巡視

平町各學校に於ける御眞彰奉安庫檢閲の爲め本日午前十一時十八分平着列車にて縣の大高屬案内の許に文部省事務官阿部義兼氏が來平直ちに三小學校及び磐城中、平商、磐女の六校奉安庫を巡視した

中川教頭出席

磐城高等女學校教頭中川氏

大浦米高値に

石城郡大浦農産倉庫の共同米販賣は昨日同所に行はれ四等三十三俵、五等九十三俵、合計百二十六俵を入札せる結果四等建値八圓卅七錢を以つて四倉町の渡邊留五郎

除隊兵の職業斡旋

四家紹介主任の提案

来る十八日若松市に於いて開催される縣下職業紹介所長會議に出席する平職業紹介所四家主任は左記の如き案件を提出する事になつたと

△職業指導デーに於る實地講習を承り出し
△除隊員の職業斡旋状況に關し承り度し
△月報通報に關する件
△失業救済の目的で縣は政府の施設と相俟て補助金の交付にて市町村をして失業應急事業を起工せしめる様其筋に建議する

弓場着工

磐中弓道部で

磐城中等學校にては既報の如く保護者評議員會に於て弓場設置を可決したが豫算百五十圓に對し二百餘圓を要する見込みなので中止の已むなきに至つた處同校弓道部指南赤津一氏が不足分を寄附する事になり昨日より工事に着手したと

電話加入數は

平町が第一位

を表徴して居るが本縣内に於ける電話の加入數は平町が最高で百戸當り十四、七四、次ぎは福島市の十二、五二、第三が若松市の十二、六五、郡山市は第四位の九、七四といふ順位である

平映畫界

▼平・館 日活時代劇新妻草助伏見直江主演「心の血煙」日活現代劇大日方傳主演「新東京行進曲」日活現代劇岡龍三郎、入

▼世界館 東活時代劇河部五郎第一回作「攻防樓閣の巨人」新興時代劇河津清三郎主演「旅の研辰三百六十五日」東活現代劇町の旋風兒」

平職業紹介所報告

求人部

- △女中 四十才前後 尋卒 月五圓(平町某)
- △子守 十三四才 尋卒 仕着小使(平町某醫院)
- △草苺 四十五才迄 委細 面談(平町某牛乳舎)
- △小商店員 十八才 高卒 月五圓外仕着(四倉町某)

求職部

- △雜夫 四十一才 尋三修 給料面談(湯本町某)
- △集金員 三十八才 高卒 給料面談(平町某)
- △運搬夫 二十三才 高卒 給料面談(内郷村某)
- △雜役 二十五才 尋三 修給料面談(平町某)

平町人事

結婚

- △杉平四小野隆氏(三〇)内郷村大字白水廣畑高階ミチ(二四)
- △長橋町三小野昇氏(二八)群馬縣佐波郡伊勢崎町六三三金井登喜子(二五)
- △廣島縣御調郡下川邊村字河南三五三豊田光行氏(三四)平町仲間町一六小林タヨ(二六)

回死

- △鎌田町三三當時福島市大字腰濱字宮田四四宮本マ(七八)
- △南町六五當時東京府下在原郡矢口町大字小林二六(吉田笙(二ツ))

貸切は●●●

セダン揃ひで

貸切専門の

昭和タクシーへ

電話三四三三

専門 内科一般

宅診 内科は何でも診療致します
往診 呼吸器病ばかりではありません
平町南町六五

川井内科診療所

醫學士 川井重之
女醫 川井安子

正札堂の夏服

- 黒セルセビロ上下 六圓ヨリ
- パンピースセビロ上下 八圓五十錢ヨリ
- ポリーラーセビロ上下 九圓ヨリ
- ポリーラー最上品三ツ組 拾八圓五十錢
- 白ズボン 七拾五錢ヨリ

正札堂洋服店

電話四三六

市原醫院

平町田町(電話二一四番)

- 内科、小兒科 市原卯太郎
 - 外科一般、婦人科 市原陸郎
 - 外科、梅毒、淋毒 市原三三男
- 入院隨時

死んだ筈の男が ノコくくと歸る

自分の名を赤線で消した 戸籍謄本を持つて平署へ

今様浦島太郎

石城郡三坂村大字下三坂字坂下二九佐藤吉松(五)は昨日午後四時頃平署人事相談所に自分は通の通り生きて居るのに戸籍上では死亡して抹消されて居るから取調して下さいと願ったので係官が事情を聞いて同人は大正三年頃東京で一働する積りで家督を娘の養子夫妻に委して東京府下南千住地方橋場百二十二建部岩一郎方に同居し

死亡して抹消されて居るから取調して下さいと願ったので係官が事情を聞いて同人は大正三年頃東京で一働する積りで家督を娘の養子夫妻に委して東京府下南千住地方橋場百二十二建部岩一郎方に同居し

日雇働 きをして居たが其後歐州大戦後の景氣に一金儲せんと横濱に出掛け

な、めに貼られた
うら淋しい貸家札

最近平町の空家の数は 二百五十軒以上に

平町には最近著しく空家が增加し各區に二三軒から場所依つては十軒近くの貸家が貼られてゐる状態に行人をして一種のうら淋しさを懐かしめてゐるこれは住宅過剰の結果でもあるが不況の反映が斯くせしめられた

た處同人宛の音信總べて前記建部方に配達されるので建部は其仕末を面倒くさくなり佐藤の死亡届を三坂村役場に出したので役場は其手續きを了したが其後當の佐藤はビン／＼して昭和四年

小兒用自轉車も 届け出ぬと科料

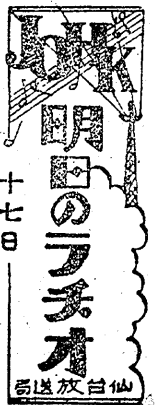
届け出ぬと科料

平町役場では本年四月改正となつた荷車、自動自轉車自轉車及びリヤカーの鑑札改正の爲め近く平署と協力して各車体検査及び鑑札の交付を行ふ事となつたので無届の車体所有者は今の内届出られたしと殊に二十時以下の子供用自轉車やリヤカーは従来殆ど無鑑札であつたが是れも届出ぬと科料に處されると

入山大勝

古河との野球

既報磐陽野球大會第一回戦入山炭礦對古河炭礦の野球戦は昨日午後三時半より磐中グラウンドに於て舉行されたが入山のコンデーシヨン



今夜は北東の風
雨明日は北西の
風午後より晴れ

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- 「兒童劇かみなり引越」五
- 「子供會」
- 後六、二〇 コドモの新聞
- 松内則三
- 後六、二五 カレントトピ
- ツクス、ハロルドパーマ

明日の部

- 後七、三〇 講演「ハルビンを中心とする北滿洲に於ける舊軍閥の虐政」廣島第九旅團長陸軍少將土肥原賢二
- 後八、二〇 一、新曲伊達
- 委江都錦繪 二、東北小唄 時祭外

兩校長が出福

中學校及び平商業學校の兩校長は来る二十日午前十時半より福島師範學校に於て開催される縣下中等學校体育大會評議員會に出席するが協議事項は大會の規約改正及豫算並實施上の打合等である

少年の窃盜

保町秋山國助(八)假名は去る十四日午後四時頃長橋町高木トメ方の一家不在中に忍入り現金八圓餘を窃取せる事發覺目下平署で取調中

農村疲弊の 實際を視察

古賀技手が來郡

石城郡の農村が疲弊した状態を實際に視察する爲め來る十九日縣廳の古賀農林技手が來郡全郡下に亘り詳細な視察を行ふ事となつた

平商保護者の 職業別と 通學區域細査

平商業學校に於ける本年度全校生徒四百名に對する保護者の職業別を調査した處に依ると

- 農業七三 工業四一 商業一五七 官公吏及び俸給生活者九一 其他三八
- であるが各町村別及縣外の通學生數は左記の如くである
- 平町一五〇 内郷五五
- 湯本三一 好間二九 神谷二二 其他各村共二三
- 名宛 郡外は双葉一一 相馬一 田村一 茨城七

腕に覺えのある 選手連を揃へて

平消防組に野球チーム

平消防組にては此程野球部を設けたがメンバーは左の如く何れも腕に覺えのある選手揃ひの事として一般ファンから今後の活躍振りを期待されて居る

マネージャー 鈴木彌太郎

日掛を集め 雇人がドロン

雇人がドロン

宮城縣志田郡鹿島臺村大字平渡字長松生れ松野浩(二六)は昭和四年頃より平町二丁目魚清の水配達に雇はれて居たが去月中旬六〇小柳八百藏方より衣類を窃取せる外今月初め納税に集めた掛金三十餘圓を銀行に持参する際横領逃走したので主人の届出により平署にて同人の行衛を捜査中平署前飲食店安樂方に潜伏して居るのを去る十二日平署に探知

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第七十七席 眞庭念流達人櫻井五助

妙なおしつくら

櫻井五助は虎五郎の賭場防ぎどなつて場所に出張し客人の世話もする又家に居る時は若い者に劍術、柔術を教へる或晩の事で集まつてゐた若い者の内で兄イ株の音五郎といふ者が

音「先生、熊谷におしつくらがありますが行きますかえ」
五「おしつくら、それは面白からうナ」
音「一緒にお出なさい、それは大した腕前の奴が居りますぜ」
五「さうか俺はおしつくら大好物だ」
音「へー一人は見かけによらぬえものだな、先生はおしつくらを知つてゐますかえ」
五「存じて居るとも、あれには四十八手ある」
音「へー先生は苦勞人だなおしつくらの手まで知つてゐるぜ、まア出懸けませう」
と音五郎は仙八に久六といふ若い者と與に櫻井を伴れて熊谷の町に來た、此處には料理屋があつてそこに白粉をつけた怪しい女が大分居る、音五郎を見



女「寄居の兄さん寄つてお出でな一服喫んで行かつせえ」
音「イヤおつる大層今日はきれいだナ、繪に描いたやうだ」
女「おめえさんやおせこさん寄居の兄さん方が見えなすつたよ」
と下を見て聲を掛けるとバタバタと音を立てて夫へ上つて來た女二人、何れせ圓顔で濃化粧をして居るが圓盆へ白ペンキを塗つたやうな髪毛の赤い足の幅の廣い筋骨逞しき者言合したやうに赤い帯を締めてゐる、番太郎の肉柱といふ古い洒落が玆にある、女はドーンと坐る疊からバツと埃が立つせな「仙太さん久しく來なかつたのどうしたかと思つ

て案内する
女「おめえさんやおせこさん寄居の兄さん方が見えなすつたよ」
と下を見て聲を掛けるとバタバタと音を立てて夫へ上つて來た女二人、何れせ圓顔で濃化粧をして居るが圓盆へ白ペンキを塗つたやうな髪毛の赤い足の幅の廣い筋骨逞しき者言合したやうに赤い帯を締めてゐる、番太郎の肉柱といふ古い洒落が玆にある、女はドーンと坐る疊からバツと埃が立つせな「仙太さん久しく來なかつたのどうしたかと思つ

つる「まアおしんなせえ、アラまあ久六さんも仙八さんも來さしたか」
久「今日は先生を伴れて遊びに來たさア、櫻井先生酒でも飲んで景氣を付けませう」
四人で入るとさア此方へお出なさいましと二階へ女

て心配してゐたが
仙「いろ／＼用が重なつたものだから來なかつたが今日は音五郎兄イが此處に居なされる先生を伴れて此方へ來るに就て供をして來た」
せな「ほんとうにおめえ方は上總木綿だのう」
仙「なん／＼上總木綿とは」

せな「丈なしだなア」
と警句を吐きました、櫻井五助はこんな所へ俺を伴れて來てどうするかと女をデロ／＼見て居る、そこへ又一人上つて來た、これは又背のヒヨロ／＼と高い顔の長い髪の毛の薄い小鬘のところに禿があつてそれを隠す爲に黄楊の櫛をなゝめにさして居る、横櫛は仇めいたものですがこの女の横櫛は風情が無い、これもドーンと膝から坐つて長羅宇の煙管に煙草をつめてスーと吸ひ
女「一服喫みなんしよ」
と五助の前へ出した、櫻井はびつくりして
五「貴様は何だ」
女「わしはおせこ申します、之から先可愛がつてくんな」
五「不思議な女が出たナ、コレ音五郎早くおしつくらの場所へ連れて行け」
音「おしつくらは此處でござんす」
五「何處におしつくらがある」
音「この女は皆おしつくらでござんす」
五「ハテナ當所では女の事をおしつくらと申すか」
音「先生、おしつくらといふは何だと思つてお在なされる」
五「おしつくらとは角力の事であらう」
音「それは大違ひ、おしつくらとはこの女の事で今夜お前さんの相手をします」
五「不埒な奴だ、このやうな女を相手にして遊ぶ事が

出來るか、俺を何だと思ふ不届至極、エ、女共側へ寄るナ、離れて居ろ」
せこ「おツかねえナこの人は、まア遊んでゆかッせえ悪いやうにはしねえだから……」
と五助の手を取る無禮するナと其手を取つてねぢ上げ引立てボーンと放した、女はヒヨロ／＼とよろけ袂に當ると溝がゆるんでゐたから袂が外れて隣り座敷へころがつた、此處に女と酒を飲んでゐた客はびつくりして、コレ不埒者めと叱りつけたは秩父小川の庄兵衛といふ俠客の許にゐる荒川郷藏といふ暴ばれ者。

貴金屬
時計及眼鏡類
懷中電燈
キミガゴ電気
ランプ特約店
高橋時計店
平町掻搔小路

漆器は共が専門

品質の正確と!!!
値段の破格と!!!
在庫品豊富と!!!
懸命の奉仕は!!!
弊店モットー!!!

丸共共榮漆器店
平町三丁目北裏(元郵便局裏通り)

胃腸病薬の王座を占むる純漢法薬
松前 家傳 靈効散(無効返)
ホントに北海道で出來た靈藥が着荷致しました。今迄のは福島市内で製藥したので兎角の批評がありました。今度のものは眞正のもので奏効確なものです。服用しなくては其の眞價が判りませんから、皆様見本品を差上げます。御遠慮なくいらつしやつて下さい。見本品でも二日間飲まれますから胃腸病に苦しむ方、惱病、心臓、痔疾の方は是非御試し下さい。クセにならず根治致します。小兒用の靈効散も出來ました。



靈効散(無効返)
金ス

定價
試用分(八日分) 輕症用(廿日分)
五十錢
重症用(四十五日) 壹圓

靈効散 地方代理店 阿康藥舖
電話四四番

お醤油は ヤマフル

醤油味噌
たひら正宗
鯉節食料品



鹽屋 山崎合名會社
福島縣平町(電話營業部二〇釀造工場)
明治生命磐城代理店 山崎與三郎